

# 兵庫県のエンマムシ

( 兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 5 3 )

高 橋 寿 郎

筆者はかつて“兵庫県のエンマムシ類”と題する報文を発表して兵庫県下から34種のこの類を記録した (Parnassius, No.29:1—14, 1983)。その時点以後日本のこの仲間は大いに研究が進展し久松定成氏の論文 (1984, 1985, 特に原色日本甲虫図鑑・IIでは日本産エンマムシ科の属の検索表とか若干の属, 種の検索表を示されると共に75種も原色で図説された)。更には大原昌宏氏の研究 (1986, 1989, 1990) などが発表され特に大原氏は全般のエンマムシ類の生活と形態、交尾行動のようなまとまった貴重な報文を発表になりこの仲間の日本産のものについて同定もや、わかり易くなったり面白いその生活がわかって来たりして大変この仲間が吾々の身近に来た様な気がする。新しい研究の結果学名なども前報のものを変えなくてはいけないものもあつたりするので今回再び県下産のこの類をまとめてみた。同定には慎重を期したが尚誤りがあるやも知れずそれ等について御指摘、御教示頂ければ幸である。

尚現在の日本産エンマムシ類 (エンマムシ上科) は1989年の「日本産昆虫総目録・I」には32属95種が出ているが大原氏の1990年の報文では日本産は34属100種となっている。結構多くいるグループのようである。学名は「日本産昆虫総目録・I」のものを用いた。

Superfamily Histeroidea エンマムシ上科

Family Syntelidae エンマムシモドキ科

## 1. *Syntelia histeroidea* Lewis, 1882 エンマムシモドキ

特異な形態をしているので一見してわかる。従来県下からは養父郡の鉢高原からのみ知られていたのであるが筆者は東 正雄氏から養父郡氷の山標高800mのツルウメモドキの朽ちた樹皮下から得た1頭の同定を依頼され本種であることがわかりその記録を発表した (1986)。

それ以外県下からは知られていない。この科のものは枯れ木、樹液などにみられ、樹幹に生息する小昆虫を捕食するが、まれに獣糞にもくると云われている。

産地\*：養父郡鉢高原〔高橋 TA., 1975〕、氷の山〔高橋 TO., 1986〕。

Family Histeridae エンマムシ科

Subfamily Niponiinae ホソエンマムシ亜科\*\*

1. *Niponius obtusiceps* Lewis, 1885 ツノブトホソエンマムシ

本種は前報では収録されていない。それ以後に採集出来たものである。キクイゾウムシ類の孔道で発見されると云うが筆者は樹皮下から採集した。

産地：神戸市烏原（1♂、21—VI—1984）。

2. *Niponius osorioceps* Lewis, 1885 ヒメホソエンマムシ

本種は前回報告した以外全く採集出来ていない。

産地：宍粟郡福知溪谷、赤西〔高橋 TO., 1983〕。水上郡〔山本, 1958〕。

Subfamily Abraeivae クロツブエンマムシ亜科

3. *Chetabraeus bonzicus* (Marseul, 1873) クロツブエンマムシ

産地：川西市笹部〔仲田, 1979, 1982〕。

Subfamily Sapriniinae ドウガネエンマムシ亜科

4. *Eopachylopus ripae* (Lewusp 1885) ツヤハマベエンマムシ

本種は県下から初めての記録になると思う。上翅はときに赤紋を装うと云うが今回採集されたものは無紋。上翅背条の発達は悪く、第4背条は基部に短線か点があるだけ、光沢があり、中、後脛節は強く拡大し裏面全体に頑丈な棘がある。蜂谷幸雄氏が的形の海浜で採集されたのがこの種に当ると思われる。

産地：姫路市の形 (lex., 6—IV—1989, Y. Hachitani leg.)。

---

\* 各種に就いて前報で解説した種については今回新しく産地の追加があればデータを入れるがそれ以外は産地名だけ入れて簡単にするようにした。また記録の引用の所で高橋 TA. とあるのは高橋 匡、高橋 TO. とあるのは高橋寿郎の記録である。

\*\* 前報では独立の科として取扱っていた。

5. *Gnathoncus nannetenis* (Marseul, 1862) オオマルマメエンマムシ

沢田和宏氏により三木市の養鶏場の鶏糞下、牛糞下そして畑の畦に捨てられた野菜クズの下から夫々採集されたことが報告されている。

産地：三木市下石野〔沢田, 1987〕。

6. *Gnathoncus rotundatus* (Kugelann, 1992) マルマメエンマムシ

前報以後新たな産地は知らないが沢田和宏氏によると(1987)本種は鶏糞から時々採集されるから養鶏場を精査すれば県内の新たな生息地が見つかるだろうと述べておられる。

産地：川西市笹部〔仲田, 1982〕。神戸市烏原〔高橋 TO., 1983〕。

7. *Saprinus (Saprinus) planiusculus* Motschulsky, 1849 ドウガネエンマムシ

産地：Hiogo〔Marseul, 1873〕。

8. *Hypocaccus (Nessus) asticus* (Lewis, 1991) ヒメハマベエンマムシ。

本種も前報以後に記録された種である。沢田和宏氏によると(1987)本種は小さい(体長2mm)ので発見しにくい上に生息している場所が砂が黒っぽくて粒も小さい密な感じのする砂地で海水の全くかからない海浜上部の植物根際周辺ということでその様な場所を調べれば見出されるだろうとのこと。

産地：姫路市的形〔沢田, 1987〕。

9. *Hypocaccus (Baeckmanniolus) varinus* (Schmidt, 1890) ハマベエンマムシ

産地：津名郡淡路町松帆ノ浦〔高橋 TO., 1983〕。西宮市御前浜〔沢田, 1986〕。明石市林崎〔高橋 TO., 1983〕。姫路市的形〔沢田, 1987〕。白浜ノ宮〔高橋 TO., 1983〕。赤穂市唐船サンビーチ〔沢田, 1987〕。

10. *Saprinus (Saprinus) splendens* (Paykull, 1811) ルリエンマムシ

産地：洲本市安平町〔堀田，1978〕。伊丹市〔河上，1984〕。神戸市御影〔関，1933〕，教育植物園，鳥原，藍那〔高橋 TO.，1983〕。城崎郡竹野町西町〔高橋 TA.，1978〕。

Subfamily Dendrophilinae オオマメエンマムシ亜科

11. *Anapleus semen* (Lewis, 1884) ツブエンマムシ

産地：神崎郡大河内町砥ノ峰〔高橋 TO.，1983〕。

12. *Bacanius* (Mullerister) *niponicus* Lewis, 1879 アカツブエンマムシ

前報以後神戸市内でも採集した。

産地：川辺郡猪名川町内馬場〔仲田，1979，1982〕、槻並〔高橋 TO.，1983〕。神戸市鳥原 (2exs.，5—VI—1984)

13. *Dendrophilus xavieri* Marseul, 1873 オオマメエンマムシ

沢田和宏氏によると (1987) 鶏糞から極く普通に産するとのこと。従って調査が不十分と考えられる。

産地：三木市別所町下石野〔沢田，1987〕。城崎郡日高町神鍋〔高橋 TA.，1976〕。

14. *Carcinops pumilio* (Erichson, 1834) クロチビエンマムシ

本種は沢田和宏氏によると (1987)、養鶏場に生息する一番多く普通に見られる種とのことである。

産地：川西市笹部、東畔野〔仲田，1978，1982〕。Hiogo〔Schönfeldt，1887〕。神戸市鳥原〔高橋 TO.，1983〕，長田・大日丘〔沢田，1987〕。三木市別所町下石野、同小林〔沢田，1987〕。城崎郡香住町小原〔高橋 TA.，1978〕。

15. *Platylomalus mendicus* (Lewis, 1892) ヒメチビヒラタエンマムシ

前報以後採集出来ていない。

産地：川辺郡猪名川槻並。城崎郡城崎〔高橋 TO., 1983〕。

16. *Platylomalus niponensis* (Lewis, 1892) オオチビヒラタエンマムシ

本種も前報以後の記録をしらない。

産地：川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕。

17. *Platylomatus viaticus* (Lewis, 1892) ツヤチビヒラタエンマムシ

この種は今回始めて県下から記録するものである。この属の種は朽ち木とか落葉下などで採れることが知られているがこの種は城崎郡日高町で朽ち木の樹皮下から採集したものである。この属の各種の検索表は久松定成氏によって発表されている(1984, 1985)。

産地：城崎郡日高町奈佐路(4exs., 25—X—1985, 3exs., 22—V—1986)。

Subfamily Onthophilinae セスジエンマムシ亜科

18. *Onthophilus ostreatus* Lewis, 1879 オオセスジエンマムシ

前報以後県下の記録が無い。

産地：神戸市御影〔関, 1933〕、本山〔中根, 1955, Ohara, M. & Nakane, T., 1986〕。

19. *Notodema fungorum* Lewis, 1884 キノコアカマルエンマムシ

新しい産地もある。普通に見られる種である。

産地：川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕。神戸市摩耶山〔Ohara & Nakane, 1989〕、鳥原(3exs., 18—VI—1984, lex., 16—VI—1984), 森林植物園(lex., 14—VI—1986)。多可郡鳥羽〔高橋 TO., 1983〕。宍粟郡赤西〔高橋, 1983〕。多紀郡篠山〔Ohara & Nakane, 1989〕。氷上郡山南町(5 exs., 5—VII—1990)。城崎郡三川山〔高橋 TA., 1975〕。養父郡氷の山〔高橋 TO., 1983〕。美方郡扇の山〔辻, 1964., 辻, 岸田, 1972〕。

20. *Atholus depistor* (Marseul, 1873) ムナクボエンマムシ

獣糞とか腐敗動物質に割合多く見られる種である。

産地：洲本市安平町〔堀田，1978〕。三原郡西淡町慶野松原，津名郡岩屋〔高橋 TO.，1983〕。川西市笹部，横地〔仲田，1978，1982〕。神戸市押部谷町木見，広野〔高橋 TO.，1983〕。三木市別所町小林〔沢田，1987〕。多可郡市原，三谷，朝来郡生野〔高橋 TO.，1983〕。

21. *Atholus duodecimstriatus guatuordecimstriatus* (Gyllenhal, 1808) コツヤエンマコガネ

産地：Hiogo〔Schönfeldt，1887〕。神戸市烏原，押部谷町木見〔高橋 TO.，1983〕。三木市別所町小林〔沢田，1989〕。多可郡三谷〔高橋 TO.，1983〕。城崎郡日高町日野〔高橋 TA.，1976〕。

22. *Atholus pirithous* (Marseul, 1873) ツヤマルエンマムシ

前報で *Hister* 属で報告した。本種も獣糞などに多くいる種で県下の分布も広いようである。

産地：Hiogo〔Marseul，1873〕。神戸市保久良山〔高橋 TO.，1983〕。三木市別所町小林〔沢田，1987〕。多可郡市原，三谷〔高橋 TO.，1987〕。赤穂市中浜町〔沢田，1987〕。佐用郡大撫山，養父郡氷の山〔高橋 TO.，1983〕。

23. *Hister concolor* Lewis, 1884 クロエンマムシ

新しく氷上郡で採集することが出来た。

産地：津名郡岩屋〔高橋 TO.，1983〕。川西市笹部〔仲田，1982〕。神戸市烏原。多可郡三谷〔高橋 TO.，1983〕。氷上郡山南町 (lex.，11—VII—1990)。

24. *Hister congener* Schmidt, 1885 イブシエンマムシ

産地：Hiogo〔Schönfeldt，H. V. 1887〕。

25. *Hister japonicus* Marseul, 1854 ヤマトエンマムシ

獣糞、腐敗物質に多くいる種。

産地：津名郡岩屋。三原郡西淡町慶野松原〔高橋 TO.，1983〕。川辺郡猪名川町上阿古谷〔仲田，1982〕。川西市笹部〔仲田，1972，1982〕。神戸市烏原，押部谷木見〔高橋 TO.，1983〕。三木市細川中 (lex.，30—V—1985)。朝来郡生野，佐用郡大撫山〔高橋 TO.，1983〕。氷上郡〔山本，1

958]。養父郡妙見山〔高橋 TO., 1983〕。

26. *Hister simplicisternus* Lewis, 1879 ヒメツヤエンマムシ

前報以後新しい産地が見つかっていない。

産地：Hiogo〔Lewis, 1879〕。多可郡三谷〔高橋 TO., 1983〕。

27. *Margarinotus (Grammostethus) niponicus* (Lewis, 1895) コエンマムシ

腐敗動物質に集り分布も広い。新たに産地として記録される所もある。

産地：川辺郡猪名川町上阿古谷，川西市笹部〔仲田，1982〕。伊丹市〔河上，1984〕。神戸市六甲山，烏原〔高橋 TO., 1983〕。伊川谷前開 (6exs., 19—V—1988)，多井畑 (3exs., 26—VII—1990)。小野市山田 (2exs., 20—V—1987)。多可郡三谷、神崎郡大河内町砥ノ峯〔高橋 TO., 1983〕。龍野市神岡町 (5exs., 13—VI—1983)。佐用郡大嶽山，宍粟郡音水〔高橋 TO., 1983〕。氷上郡〔山本，1958〕，山南町 (2exs., 11—VII—1990)。養父郡氷の山〔高橋 TO., 1983〕。美方郡扇ノ山〔辻，1963、辻・岸田，1972〕。Hataganaru, Tazima〔Ohara, 1989〕。

28. *Margarinotus (Ptomister) aganatus* (Lewis, 1884) ニセヒメエンマムシ

西日本に多い種とのことであるが県下での産地は余り知られていない。

産地：神戸市西区学園都市 (lex., 10—V—1985)，Taizan—ji, Kobe〔太山寺? Ohara, 1989〕。

29. *Margarinotus (Ptomister) bleti* (Lewis, 1884) キノコエンマムシ

キノコから採集した。県下での記録は之以外知らない。

産地：氷上郡山南町 (lex., 5—VII—1990, 8exs., 6—IV—1990)。

30. *Margarinotus (Ptomister) weymarni* Wonzel, 1944 ヒメエンマムシ

本種は割合県下に広く分布しているようである。

産地：津名郡岩屋〔高橋 TO., 1983〕。川西市笹部〔仲田，1979, 1982〕。伊丹市〔河上，1984〕。神戸市御影〔関，1933〕，Mayasan〔Ohara, 1989〕，中津浜〔中根，1955〕，烏原〔高橋 TO., 1

983] 加東郡社町三草 (lex., 15—V—1987)。多可郡三谷〔高橋 TO., 1983〕。氷上郡〔山本, 1958〕。養父郡氷の山〔高橋 TO., 1983〕。

31. *Merohister jekeli* (Marseul, 1857) エンママシ

本種の分布も県下に広い。たゞ個体数が必ずしも多くないように思われる。

産地：洲本市安乎町〔堀田, 1978〕。津名郡津名町大町〔堀田, 1978〕。川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕。神戸市御影〔関, 1933〕, 六甲山, 平野, 烏原, 白川, 押部谷町木見〔高橋 TO., 1983〕。出石郡但東町佐々木〔高橋 TA., 1963〕。豊岡市上陰、城崎郡香住町明原〔高橋 TA., 1975〕。養父郡氷の山〔高橋 TA., 1959〕。

32. *Zabromorphus punctulatus* (Wiedemann, 1817) アラメエンママシ

前報以後採集出来ていない。

産地：神戸市烏原〔高橋 TO., 1983〕。

33. *Platysoma (Cylister) lineicolle* (Marseul, 1873) ナガエンママシ

産地：洲本市先山〔久松, 1973〕。川西市大和〔仲田, 1970, 1978〕, 笹部〔仲田, 1982〕。神戸市本山〔中根, 1955〕。多可郡烏羽〔高橋 TO., 1983〕。氷上郡〔山本, 1959〕。出石郡但東町中藤〔高橋 TA., 1963〕。

34. *Platysoma (Platylister) pini* (Lewis, 1884) マツナガエンママシ

産地：明石市大久保〔高橋 TO., 1983〕。美方郡扇ノ山〔辻, 1963., 辻, 岸田, 1972〕。

35. *Platysoma (Platysoma) celatum* Lewis, 1884 ヒメナガエンママシ

産地：川辺郡猪名川町槻並〔高橋 TO., 1983〕。川西市笹部〔仲田, 1979, 1982〕。西宮市船坂 (lex., 5—VI—1987)。神戸市烏原, 山の街, 谷上, 白川〔高橋 TO., 1983〕。城崎郡三川山〔高橋 TA., 1978〕, 日高町奈佐路 (lex., 22—V—1986)。養父郡氷の山〔高橋 TO., 1983〕。Higashi-ashida, Hyogo (?)〔Ohara, 1986〕。

36. *Platysoma (Platysoma) lewisi* Marseul, 1873 オオナガエンマムシ

産地：川西市横地〔仲田, 1978〕、笹部〔仲田, 1982〕。Hiogo〔Marseul, 1873〕。朝来郡生野〔高橋 TO., 1983〕。多紀郡篠山〔Ohara, 1986〕。

37. *Platysoma (Platysoma) rasile* Lewis, 1884 ニセヒメナガエンマムシ

小さい種である（体長3.0 mm）尾節板の点刻は前尾節板の点刻より明らかに小さい。分布は結構広い。筆者県下で樹皮下より採集した。

産地：龍野市神岡町（lex., 26—V—1988）。

38. *Hololepta amurensis* Reitter, 1879 オオヒラタエンマムシ

産地：氷上郡〔山本, 1958〕。美方郡扇ノ山〔辻, 1963., 辻, 岸田, 1972〕。

39. *Hololepta depressa* Lewis, 1884 ヒラタエンマムシ

産地：多可郡鳥羽〔高橋 TO., 1983〕。

40. *Hololepta higoniae* Lewis, 1894 ヒゴヒラタエンマムシ

産地：神戸市鳥原〔高橋 TO., 1983〕。

Subfamily Hetaeriinae アリヅカエンマムシ亜科

41. *Hetaerius gratus* Lewis, 1884 アカアリヅカエンマムシ

産地：神戸市須磨区白川〔高橋 TO., 1983〕。

以上兵庫県のエンマムシ類として2科42種を記録した。本州産の半分以上は記録出来た。まだいくらか追加の種があるだろうと考えられるが何分にも採集条件が年々悪くなっている。従ってどの様なエンマムシが県下にどの様に分布しているのかと云ったことをまとめることは至難の業となって来た

ように思われる。

#### 参考文献

前報に掲げた文献以後の出版で同定に参考となった文献だけを示した。

- 平嶋義宏監修 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター (1989). エンマムシ科.  
日本産昆虫総目録・I : 246—250.
- 久松定成 (1984). 馬場金太郎博士採集の新潟県エンマムシ科. 越佐昆虫同好会々報 (57) : 19—  
24.
- 久松定成 (1985). エンマムシ科. 原色日本昆虫図鑑 II : 220—230. (保育社).
- 久松定成・楠井善久 (1984). 信越地方のエンマムシ科ノート. 越佐昆虫同好会々報 (57) : 15—  
18.
- M. Ohara (1986). On the Genus *Platysoma* from Japan (Coleoptera, Histeridae). Pap.  
Ent. prec. Nakane, Tokyo p.91—106.
- M. Ohara (1989) On the species of the genus *Margarinotus* from Japan (Coleoptera:Histeridae).  
*Ins. matsum. n. s.* 41 : 1—50.
- 大原昌宏 (1990). エンマムシの生息環境と形態の多様性. *インセクトリウム* 27 (2) : 4—12.
- Ohara and Nakane (1986). On the genus *Onthophilus* from Japan (Coleoptera:Histeridae).  
*Ins. matsum. n. s.* 35 : 1—15.
- Ohara and Nakane (1989). Redescriptions of Two Japanese Histerides Belonging to the  
Tribe Exosternini (Coleoptera, Histeridae).  
*Jpn. J. Ent.*, 57 (2) : 283—294.
- 斉藤仁志 (1990). 下北半島のエンマムシ類 (I). *Celastrina* (24) : 7—13. (1991・I)